

■政府、過疎地の患者対象に

テレビ電話の服薬指導、次期国会に関連法案提出

政府は国家戦略特区を活用し、過疎地で遠隔診療を受けた患者に対し、薬剤師がテレビ電話を活用して処方薬の服薬指導ができるようにするための関連法案を次期国会に提出する方針を固めた。

安倍晋三首相は9日の国家戦略特別区域諮問会議（議長＝安倍首相）で、「従来、薬の服用方法は必ず薬剤師が患者に対面で指導するとされてきたが、遠隔診療が行われた場合にはテレビ電話による指導も認め、薬局のない過疎地にも迅速に薬を提供できるようにする」と述べ、次期国会で関連法案の提出を目指す考えを示した。

6月に閣議決定された『日本再興戦略』改訂2015』では、医療資源が乏しい離島やへき地で遠隔診療を受けた患者に対し、薬剤師が対面で処方薬の服薬指導を実施できない場合、国家戦略特区で例外としてテレビ電話を活用できるよう法的措置を講じることが明記された。

■フレンド（栃木県）

介護情報のリーフレット発行開始、全店で配布

調剤薬局や介護事業を手掛けるフレンド（栃木県）は10日、介護に関する情報を発信する患者向けリーフレットの発行を開始したと発表した。高齢化が進む中、調剤薬局でも医薬品だけでなく、介護に関する情報発信が必要と見て今月から発刊した。今後、毎月1回の頻度で発行し、介護施設や福祉用具など介護に関する情報を発信していく。

リーフレットの名称は「フレンド通信」（A4サイズ・1枚）。発行に当たっては薬局事務員によるプロジェクトを発足し、同社の在宅介護事業部の専門部署が監修している。第1回のテーマは「杖」。カラーの写真やイラストなども交え、杖の種類、使い方、杖選びのポイントなどを紹介した。

リーフレットは同社の調剤薬局22店舗全店に掲示したほか、現物を自由に持ち帰ることができるようにもした。また同社のホームページにも掲載した。次回のテーマは「小規模多機能施設」を予定している。

■第一三共ヘルスケア

かぜ薬2製品を自主回収

第一三共ヘルスケアは9日、第2類医薬品の「ルルアタックFX」と「新ルルーK錠」の2製品について、自主回収を開始したと発表した。長期安定性試験の結果、一部製造